

木質フローリングの魅力

自然の温もりや飽きのこないデザインなど、木質フローリングは他の床材にはないさまざまな特長を備えています。生活様式や建築様式の多様化とともに種類も広がっています。従来からのムクフローリング(単層)はもちろん、複合フローリングの需要も確実に増え、近年の防音技術やシックハウス対策などと相まってますます多くの方々に利用されるようになっていきます。

本物志向の時代に、ムクフローリング

ムク(無垢)とは、切り出してきた木をそのまま1枚の板として本物の良さを利用する木材のことです。ナラやカバ、イタヤ、ブナなど種類も豊富で、自然が生み出したそれぞれの個性が、人々の生活空間に安らぎと潤いをもたらします。また、ムクフローリングは、目がチカチカする、吐き気がする、だるいなどの症状を起すシックハウス症候群の心配はほとんどありません。

特長

ムクフローリングの特長は多種多様です。主に次のような点で高い評価を得ています。

- ①耐熱性：接着剤が原因となる変形の心配がない
- ②耐久性：半永久的で、剥離とは全く無縁。変色や変質もない
- ③再生性：サンダーをかけるだけで新品のように再生する
- ④満足度：自然のままの本物素材であり、長い間使っても飽きがこない
- ⑤バリエーション：木の種類、色において、合板に比べ選択肢が豊富

高い機能性、複合フローリング

ナラ、サクラなどの広葉樹と、合板を合わせて作る複合フローリングは、膨張や収縮、ねじれ、反りなども生じにくい点で定評があります。利用目的に合わせて耐水、防虫、遮音などの性能を引き出すこともでき、その高い機能性は複合フローリングならではの点です。

シックハウスの原因とされている接着剤の成分についても厳しく規定されるようになり、その機能性と施工性の早さからマンションを中心に需要は伸びています。

★フローリングの機能はさまざまです。施工する際は、用途や必要な機能などについて施工業者とよく話し合ってください。

材質

ナラ

ナラ材は元来、床材・ドア・手すりなどの造作に用いられる高級木材です。なかでも日本のナラ材は、本場英国をはじめヨーロッパ各国に輸出され、「最高級クラス」との評価を得る、世界に誇るべき財産です。年輪に沿って並ぶ太い導管の木目模様と、柾目に出る「虎斑」と呼ばれる勇壮な紋様が、くすんだ褐色の心材色に映え、男性的な重厚さを演出します。

カバ

カバ材は、幹がまっすぐで太く素性の良い材として高い評価を得ています。心材は淡紅褐色で辺材は白く、通常は心材・辺材の両方を含む形で利用されます。比重はサクラと同程度に重硬かつ緻密であり、以前は精密機械の部材としても使われたほどです。塗料の乗りも良く、美しい仕上がりが喜ばれています。

イタヤ (カエデ)

数多いカエデ類の中では最も太くなる木で、材は緻密で光沢があり、年輪は波打って複雑な木目を見せてくれます。心材も辺材もやや赤みを帯びた白ないし淡い褐色で、華やかな印象を与えます。特に「リップルマーク」と呼ばれる、細かい小波状の組織が現す絹糸光沢の微妙な変化が美しく、その美しさからバイオリンの胴に使われるとも言われます。

ブナ

ナラが男性的と称されるのに対して、ブナ材は女性的雰囲気を持つと言われます。やや赤味を帯びた淡褐色の心材、白色がかかった辺材、そして板目に現れる柾目と呼ばれる細かい斑点状の紋様は柔らかな風情をかもし出すものです。ブナ材はときに「偽心材」と呼ばれる灰色を帯びた不規則な模様が見れ、これが独特の演出を引き出しています。

種類

複合フローリングの種類は、以下のようには3つに分かれます。

- ①複合一種：合板だけを基材とした複合フローリング
- ②複合二種：集成材または単板積層材のみを基材としたフローリング
- ③複合三種：複合一種または二種の基材の組み合わせ又はそれ以外の木質材料又はこれらと組み合わせたものを基材としたフローリング